



東京

～まち歩きガイド～



かつての東京湾を感じながら歩く
Explore Tokyo feeling former Tokyo-Bay

目次

「のんびりゆったり気軽に巡ろう。皇居周辺ルート」

- ① [東京駅](#) / 「かつては海が広がっていた」
- ② [和田倉噴水公園](#) / 「近代的技術と豊かな自然」
- ③ [日比谷公園](#) / 「歴史を感じる江戸城の名残」

「食と自然で心を癒そう。浜離宮周辺ルート」

- ① [駿河台](#) / 「東京湾埋め立ての礎」
- ② [築地](#) / 「空腹満たす海鮮三昧」
- ③ [浜離宮恩賜庭園](#) / 「現代的ビルと庭園の美しい風景」
- ④ [愛宕神社](#) / 「参拝への陰しい道のり」
- ⑤ [芝公園](#) / 「東京のシンボル」
- ⑥ [御穂鹿嶋神社](#) / 「都心の中で歴史を感じる」

「願い事を叶えます。日本橋周辺ルート」

- ① [清澄庭園](#) / 「心安らぐ癒し空間」
- ② [水天宮](#) / 「様々なご利益」
- ③ [日本橋](#) / 「すべての始まり」

◎マップの活用方法

このマップはかつての東京湾の痕跡を巡ることができるマップです。

東京湾の歴史や、人々との繋がり、自然など様々なものに触れながら楽しく散策できます。

また、東京湾の痕跡を巡るだけでなく、周辺にある魅力的なスポットも紹介しています。

コースは3つに分かれていて、徒歩で巡ることができるコースが一つと自転車を使って巡るコースが二つとなっています。

全て異なる内容となっているので、自分の好みのルートを散策してみてください！



③ 日比谷公園

The map shows the Imperial Palace area in Tokyo. A dotted orange line connects three red diamond markers numbered 1, 2, and 3. Marker 1 is located near the Imperial Palace East Gardens (皇居外苑). Marker 2 is located near the Imperial Palace Outer Garden (皇居外苑). Marker 3 is located near the Imperial Palace Main Gate (正門). The map includes various landmarks such as the Imperial Palace (皇居), Tokyo International Forum (東京国際フォーラム), and surrounding streets like Marunouchi (丸の内) and Ginza (銀座).



東京駅

アクセスがよく、皇居周辺の落ち着いた雰囲気味わうコースにぴったりです。

東京駅構内、周辺は存分に楽しめるショップやカフェがたくさんあります。

東京駅型ポスト



東京駅の中にはいくつかポストがあります。
その中でも丸の内側にある郵便ポストは東京駅の形になっています。
丸いドーム型の屋根が特徴的です。
ちょっとした遊び心が素敵です。



東京駅の改札外 1F、キッチンストリートの中にあるおすすめカフェは「果実園東京店」というお店です。
フルーツをたっぷりと食べたいという時にはぜひ立ち寄っていただきたいです！

果実園 東京店



和田倉噴水公園

近代的な技術と伝統的な美観が融合された和田倉噴水公園は、江戸時代以前には漁業が盛んな東京湾の入り江に面しており、現在は人々の憩いの場となっています。

無料休憩所



休憩所内には、皇室や皇居外苑に関する展示物や公園の全体図、自然情報やみどころスポットなどのインフォメーションパネルが展示されており、散策に役立つ情報が満載です！
疲れたときは一休みしましょう！

水と緑の風景



和田倉噴水公園は「継続と新たな発展」を象徴する変化に富んだ水と緑の風景として創出されました。噴水のダイナミックな動きと季節の花々の美しさを楽しむことができます。都会の中の豊かな自然に癒されてみてはいかがでしょうか。

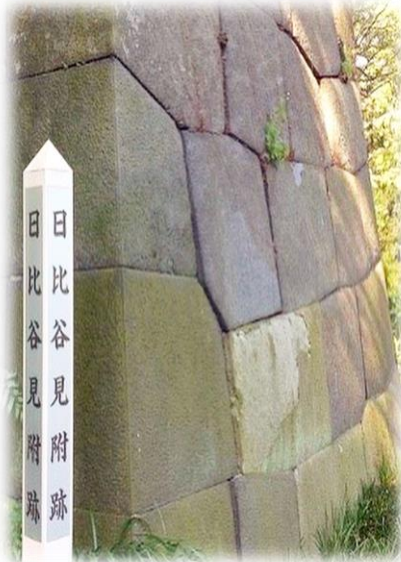


日比谷公園

かつてこの一帯は日比谷入江と呼ばれ、東京湾から海が続いていました。

江戸時代初頭に埋め立てられ、1903 年に日本最初の洋風近代公園として誕生しました。

日比谷見附跡



江戸城を囲む「江戸城三十六見附」の一つで、日比谷御門があったところです。

見附というのは、警備のための城門のことです。城の外側から順に、高麗門、枳形、渡櫓、番所が石垣に囲まれていましたが、現在も石垣の一部だけが、残っています。

心字池



かつて石垣の周囲は入り江を埋め立てて作った濠になっており、その一部を心字池として残しました。

心字池とは「心」という文字をかたどった池で、鎌倉・室町時代の日本庭園の代表的な手法でした。

池にはコサギ、アオサギ、カモなどが飛来します。

①駿河台

②築地

③浜離宮恩賜庭園

④愛宕神社

⑤芝公園

⑥御穂鹿嶋神社

浜離宮

周辺ルート





駿河台

徳川家康の死後、江戸幕府が駿府（駿河国と都市）の役人を住まわせたことが地名の由来とされています。人が多いが、どこか落ち着いた雰囲気も持っているように感じます。

神田山



江戸時代の海岸線は現在の皇居まで入り込んでいました。徳川家康は「神田山」と呼ばれる丘陵（現在の駿河台）を切り崩し日比谷入り江が埋め立てられました。実際に駿河台付近を散策してみると、坂道が多く、高低差があることが分かります。

神田明神



江戸東京に鎮座して1300年の歴史をもちます。江戸時代には「江戸総鎮守」として将軍様から庶民にいたるまですべてを守護されてきました。勝負事に強いとされているパワースポットなので、ぜひ訪れてみてください！



築地

新鮮なお魚を取り扱う大規模な市場で、東京湾の魚だけではなく、全国から魚が集まります。

豊洲に移転が決まりましたが、営業しているお店もあり、観光客の姿も見受けられます。

築地本願寺



1657年の大火事により、焼失してしまいました。元の場所に再建することが叶わなかったため、替地として用意されたのが現在の場所です。本堂再建のため、海を埋め立てて土地を築きました。それが「築地」という地名の由来になっています。

築地市場



築地といえば新鮮なお魚！新鮮なお魚を使った海鮮丼やお寿司を提供しているお店がたくさん立ち並んでいます。どのお店も美味しそうなものばかりです！小腹が空いてきたら立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



浜離宮恩賜庭園

徳川将軍家ゆかりの庭園で、かつては将軍が舟遊びや釣りを楽しんでいたそうです。

江戸時代から続く庭園と現代的な高層ビルの組み合わせは美しいものです。

潮入の池



潮の満ち引きで池の景観が変化する特殊な造りの庭園は都内で唯一です。

この池の水は、東京湾の海水と淡水が混ざっており、様々な生物が生息しています。

マハゼ、ボラ、ユビナガスジエビ、アカエイなど海の生物も多く見受けられます。

お伝い橋



潮入の池の岸と中島を結ぶ橋です。

中島には「中島の御茶屋」があり、かつては夕涼みや月見に使われていたとされています。

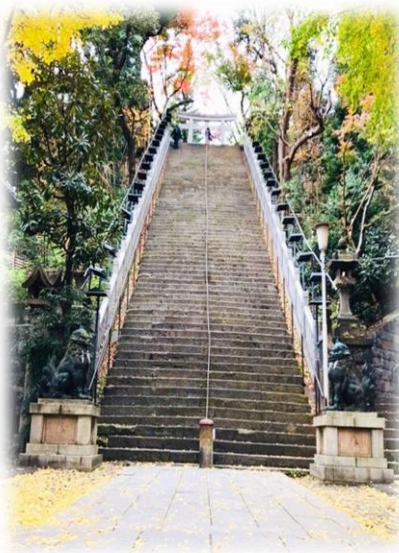
現在では、抹茶やお菓子を楽しむことができます。



愛宕神社

23 区内で一番高い自然地形の山である愛宕神社。現在のように高層ビルが立ち並ぶ前の江戸時代には、山頂から東京湾や房総半島を眺めることができたそうです。

出世の石段



愛宕神社に上がる急な石段は「出世の石段」と呼ばれています。江戸時代に曲垣平九郎が馬で石段を駆け上がってその後「日本一の馬術の名人」として名を轟かせた事からこの名がついたとされています。男坂とも呼ばれ、急なので登る際には気合を入れて登って下さい!!

児盤水の滝



遠い昔、この地に「児盤水(または小判水)」「こばんすい」という霊験あらたかな湧水があり、平将門の乱の鎮圧に向かう源経基がこの水で水垢離をして神の加護を祈願し、乱を鎮めたという話も伝わっています。

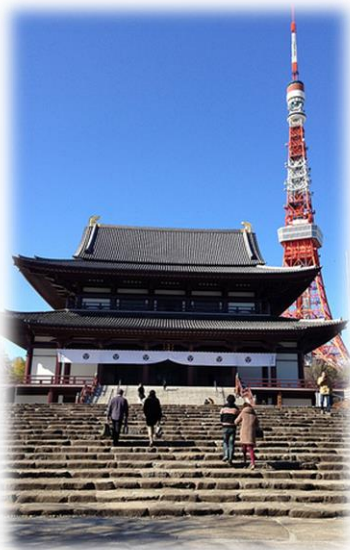


芝公園

芝公園は明治時代に生まれた公園であり、数多くの名所や史跡があります。

歴史あるものと新しいものが融合した味わい深い景観は、芝公園の魅力になっています。

増上寺



芝公園は、1873(明治6)年、日本で最初の公園として指定されました。こんもりとした丘は「芝丸山古墳」と呼ばれ、古墳の頂上には最初の実測日本地図をつくりあげた伊能忠敬の記念碑があります。ここで測量の予行練習をしていたとされています。

東京タワー



正式名称は「日本電波塔」です。東京スカイツリーが完成するまでは、日本で一番高い建物でした。展望台からはお台場などの東京湾方面や新宿など都内を一望することができます。



御穂鹿嶋神社

元々は「鹿嶋神社」と「御穂神社」という別の神社であったがどちらも本芝地区の鎮守であったため「本芝両社」と称され、2004 年に「御穂鹿嶋神社」となりました。

本芝両社

芝浜囃子の碑



「御穂神社」は、村人を教え導いていた芝浦の翁の徳を慕い社を建てたのが始まりとされています。

「鹿嶋神社」は、ある時、沖の方に流れ着いた神殿を元の場所に返しても再び流れ着いたことから、この地に祀るようになったそうです。「江戸名所図会」には江戸の海(東京湾)に面していた「鹿嶋神社」と、それよりも東奥の「御穂神社」の位置関係も記載されています。



「江戸名所図会」によると、1964 年頃まで芝・三田・高輪付近は漁船の入る入江になっており、魚市場本芝組の雑魚場(ざこば)として有名でした。古典落語の演目である『芝浜』はかつてこの神社の前・隣接していた砂浜で、落語の舞台になった場所です。このような縁もあり、現在の御穂鹿嶋神社の鳥居の隣に「芝浜囃子の碑」が建っています。

①清澄庭園

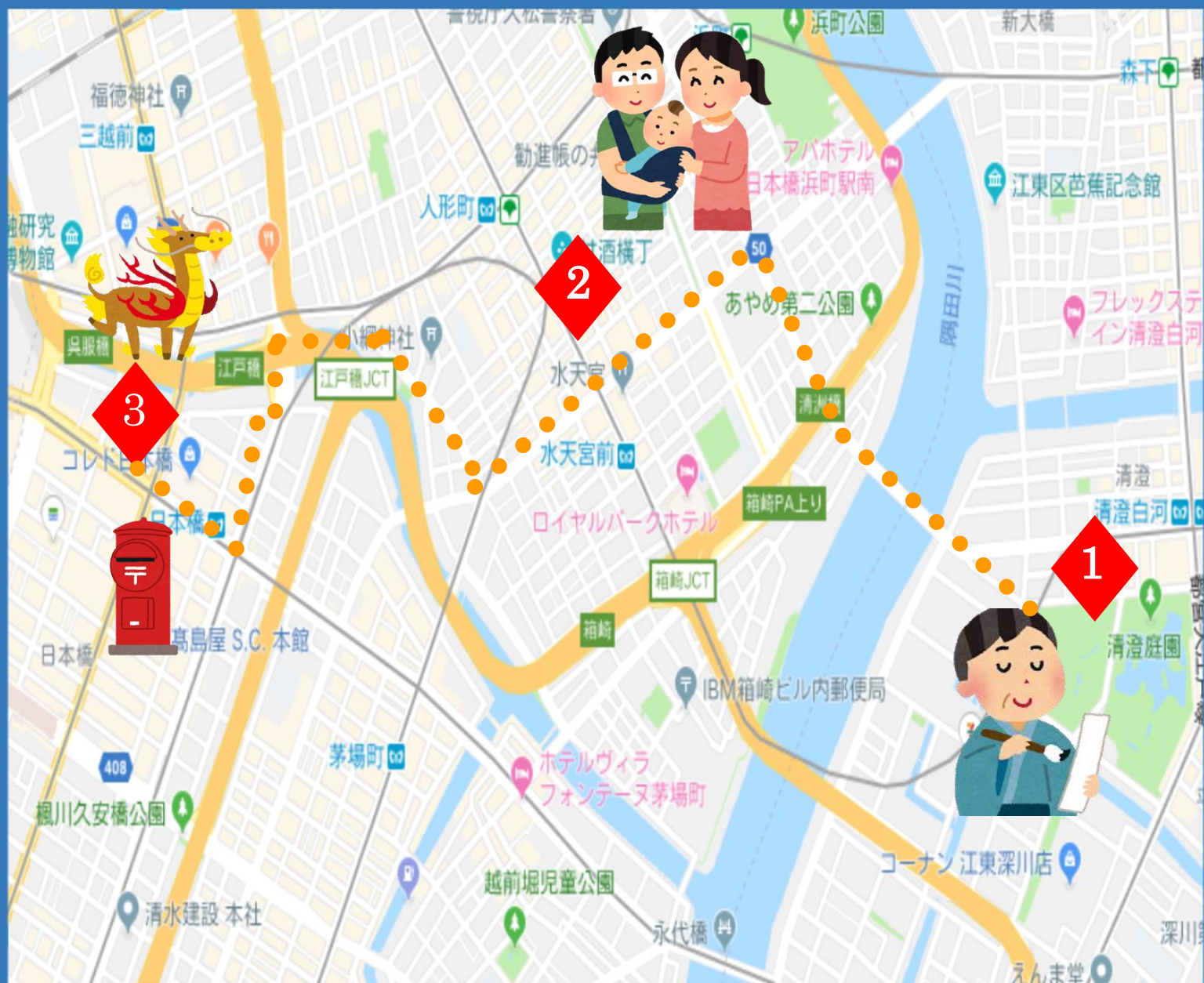
②水天宮

③日本橋

日本橋 周辺ルート

歴史ある街並みを散策！

少し距離があるので自転車で移動がおすすめ！





清澄庭園

明治時代に三菱財閥の創業者である岩崎彌太郎が手に入れ完成させた回遊式日本庭園。

池の水は隅田川の水を引いており、東京湾の潮の干満によって水位が微妙に変化する。

涼亭



1909 年（明治四十二年）に国賓として来日したイギリス陸軍のホレイシヨ・ハーバート・キッチナー元帥を迎えるために建てられたものです。東京都選定歴史的建造物にも選ばれました。歴史を感じられる建物でとても幻想的です。

松尾芭蕉の句碑



庭園の近くに松尾芭蕉が住んでいた深川芭蕉庵跡があり、この句碑はそこへ晋永湖という俳人が 1934 年（昭和九年）に建てたものですが、芭蕉庵の改修の際に庭園に移されました。「古池や かはづ飛び込む 水の音」



水天宮

東京都中央区日本橋蛸殻町にある神社です。現在では安産・子授け・芸能祈願・水難除けなどの神社として有名であり、若い夫婦やお礼参りの親子で常に賑わっています。

水天宮の神使い



◎安産子育河童
母河童が3匹の子河童を抱えている像。水難から人々を守るために、この像が建てられました。
◎子宝いぬ
遊ぶ子犬を母犬が見守っており、十二支のうち自分の干支をなでると、安産、子授けなどの多くのご利益があるといわれています。

寶生辨財天



三田の久留米藩江戸上屋敷に祀られていた辨財天像を安置するものです。
学業・芸能・財福の神様で、何かに挑戦すると時はぜひ行きたいですね！



日本橋

江戸時代には世界最大規模の都市の一つとされていました。

全国から様々な物産が集まり川柳で詠われるほど活気があった街だったようです。

日本橋麒麟像

発祥の地



「日本橋」は東海道や中山道などの主要な街道の起点となっていて、橋の上には麒麟像があります。麒麟は空想上の生き物で、本来は翼がありません。しかし、「日本の道路の起点であるここから日本中に飛び立っていけるように」という願いが込められて翼が付けられました。



◎郵便
交通の利便性に優れた日本橋の地に郵便役所が置かれ近代的な郵便事業が始まりました。

◎魚市場
幕府へ納めていた魚が余った時に街中で売り始めたことが魚市場の起源だと言われています。

◎マップ作成の目的

私たち「東京湾と川班」では、昨年に東京湾に生息する生物の情報をまとめた「東京湾お魚図鑑」というものを作成しました。

色々調べていく中で、東京湾の歴史や東京湾と人々の繋がりについて深く掘り進めて一つのものにしようということになり、今回東京湾の昔の海岸線を巡る散策マップを作成しました。

実際に散策してみないと気づかないような痕跡や情報がたくさんあったので、ぜひこのマップを活用し、楽しみながら歴史や自然に触れてもらえたら嬉しいです。





法政大学人間環境学部 高田ゼミ 東京湾と川班

高畠・吉高・石川・新實・武田・正野